

登録コード	ASJ03659	開講年度	2026					
授業科目	特別研究				担当教員	鈴木 香奈子		
英文授業名	Graduate Research				副担当			
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	修士課程2年
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					高い専門性の知識を培う。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					学会などで研究成果を発信できる。		
授業の概要	研究テーマを決定した後、試験計画、試験の遂行状況、結果などについて適宜ディスカッションを行う。							
Contents:	試験計画書作成、試験結果の分析・まとめ、考察のディスカッション、結果の公表(学会など)、修士論文作成							
授業計画	研究テーマを決定した後、試験計画、試験の遂行状況、結果などについて適宜ディスカッションを行う。							
成績評価の方法	研究室セミナーにおけるプレゼン、試験の遂行状況、学会などでの発表、修士論文の完成度							
成績評価の基準	評価方法に則り、以下のように評価を行う。							
	90点以上は「秀」、89-80点は「優」、79-70点は「良」、69-60点は「可」と判定します。							
事前事後学習の内容	決めた研究テーマに沿った国内外の論文を読み、既往の研究において明らかにされていることを知ることが重要です。							
履修上の注意	英語の勉強なども必要となりますので、能動的に勉強を継続してほしいと思います。							
質問,相談への対応	鈴木 of メールにご連絡ください。							
	kanasuzu@shinshu-u.ac.jp							
学生へのメッセージ	論文を作成するにあたり、様々な知識が必要となります。積極的に試験や実験を行い、自らの考える力を育んでほしいと思います。							
【教科書】	特になし。							
【参考書】	・実験計画と分散分析のはなし 大村 平 著 日科技連 ・分析化学の基本と仕組み 津村 ゆかり 著 秀和システム							